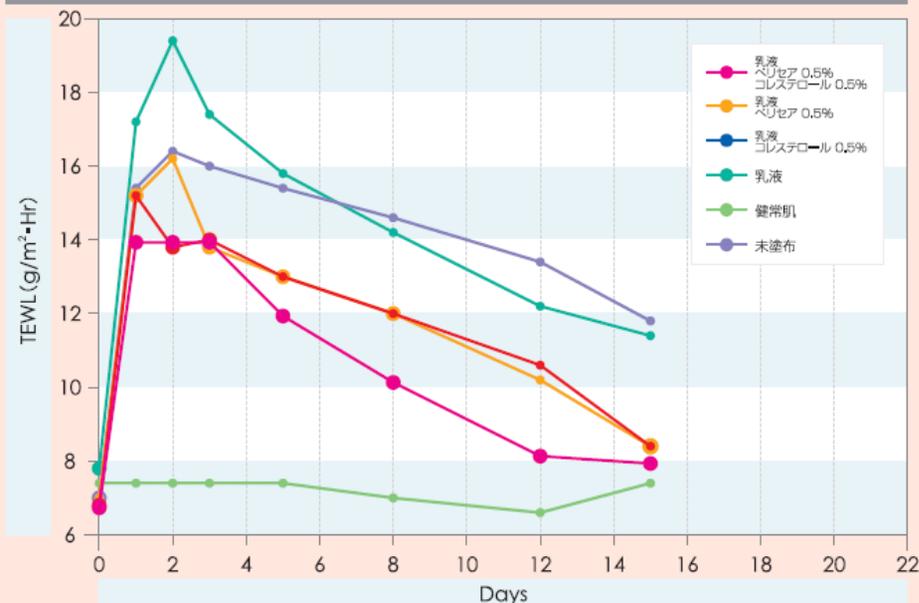


# ペリセアの乳液処方でのバリア改善効果

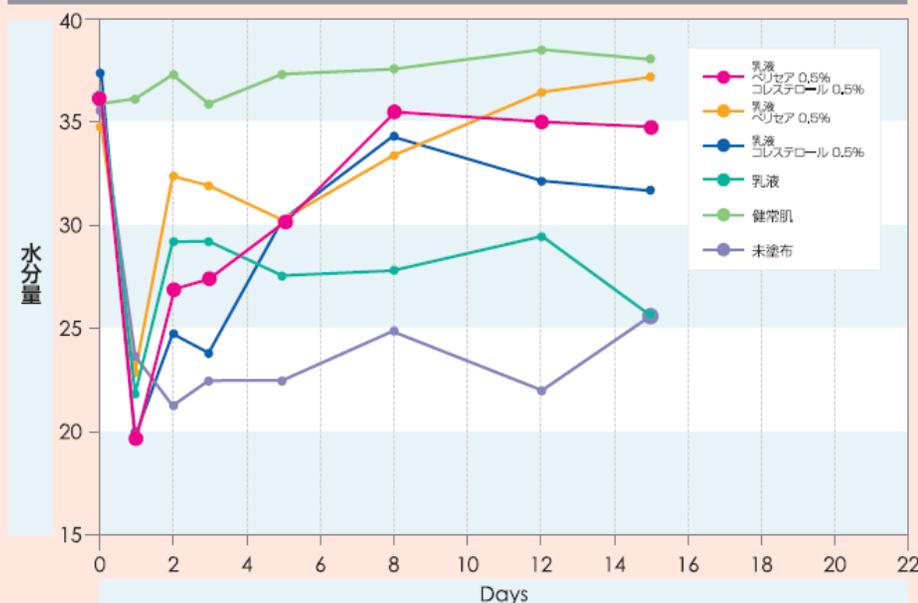
ペリセア配合乳液の処理により、バリア改善が見られる。

## 乳化処方でのバリア改善効果

TEWL改善効果



角層水分量改善効果



試験条件 ■ 皮膚バリア機能の回復効果(前腕内側部) ■ 肌荒れ作成後(SDS5%塗布)、1%試料水溶液を1日2回塗布してTEWLの推移(下図)を確認。 ■ 塗布量: 2 $\mu$ L/cm<sup>2</sup> (※1%濃度として)

乳液処方  
【基本成分】

流動パラフィン	10部
ノニオン活性剤	3部
1,3-BG	5部
セタノール	2部
水	残部
	100

ペリセア濃度は固形分換算です。